

### 45. 自然文化を楽しく学ぶ科

【水曜日 授業予定表】 講師:菅井啓之、沖和行、清水孝之 他

				午 前			午 後		
回	月	日	曜日	講義数	テーマ	内 容	講師名	テーマ	内 容
1		4	日	①	①入学式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)				
2	4	14	水	1	自然文化を味わうための自然の見方		菅井啓之 元京都光華女子大教授①	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明(グループ分け)	
3		21	水	2	森林文化 (1)	社寺林から日本の森を考える	菅井啓之②	オリエンテーション	
4		12	水	3	★森林文化 (2)	奈良春日山原始林の散策	菅井啓之③	午前の続き班自主活動	
5	5	19	水	4	植物好きの植物散歩と標本づくり①	周辺の植物解説と葉脈標本づくり	斎藤明子 森林インストラクター①	自主活動	
6		26	水	②	②遠 足 (1)				
7		2	水	5	身近な植物(春から夏編)	足もとをみつめよう	清水孝之(六甲山の自然を学ぼう会 理事長/NHK文化C講師)①	自主活動	(なにわの宮公園/大阪城公園での観察会)
8		9	水	6	植物のちから①	植物と人とのつながり	沖和行(元神戸薬科大学薬用植物園)①	③社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)	
10		16	水	7	樹 (1)	巨樹・古木の意義を考える	菅井啓之④	自主活動	
11		23	水	8	身近な天文学を学ぶ	身近な天文学のぎもん/星のいろいろ	高柴健一郎 星のソムリエ①	”	
12		7	水	9	★自然と天体観察	大阪市立科学館/プラネタリウム	高柴健一郎②	午前の続き班自主活動	
13	7	14	水	10	★樹 (2)	京都御苑を散策して樹木に親しむ	菅井啓之⑤	午前の続き班自主活動	
14		21	水	11	植物のちから②	植物の生きるための理由	沖和行②	自主活動	
		8			夏 休 み				
15		15	水	12	身近な植物(秋から冬編)	足もとをみつめよう	清水孝之②	自主活動	
16	9	22	水	13	庭 (1)	盆栽、水石の心	菅井啓之⑥	(14)植物好きの植物散歩と標本づくり②	周辺の植物解説と葉脈標本づくり 講師:斎藤明子
18		29	水	15	★絶滅危惧種たちを学ぶ	近年、大阪市立大学理学部附属植物園が行っている絶滅危惧種の保全について	厚井聡(大阪市立大学大学院理学 研究科准教授)	植物園内観察	市大理学部附属植物園観察(調整中)
19		6	水	16	★庭 (2)	日本庭園に学ぶ(万博記念公園)	菅井啓之⑦	午前の続き班自主活動	
20		15	金	④	④コーダイジョイフルゲームズ (屋外でのジョイフルゲームズ。雨天中止)				
21		20	水	17	植物のちから③		沖和行③	自主活動	
22		27	水	⑤	⑤遠 足 (2)				
23		10	水	18	樹木の特性を生かした生き残り戦略	種の分化の過程で生まれた個性を生かした戦略	清水孝之③	自主活動	コーダイフェスタ準備
24	11	17	水	⑥	⑥コーダイフェスタ (曜日別に実施)				
25		24	水	19	自然観察 (1)	いのちを見つめる自然観察	菅井啓之⑧	自主活動	
26		1	水	20	★自然観察 (2)	都市公園での自然観察	菅井啓之⑨	”	
27	12	8	水	21	自主(企画)講座	(仮日程:2学期~3学期の間に1回自主講座日を設定)		”	
28		15	水	22	自然観察 (3)	微小貝から海を見つめる	菅井啓之⑩	自主活動	
					冬 休 み				
29		19	水	23	日本の自然観の意義を考える		菅井啓之⑪	”	(修了後の活動の場)
30		26	水	⑦	⑦社会への参加活動・・・(仮日程:1学期~3学期の間に活動日を1回設定)				
31		2	水	24	野鳥観察入門		和田太一 海見人/環境事業協会①	自主活動	成果発表会準備
32		9	水	25	★野鳥観察(鶴見緑地予定)		和田太一②	午前の続き班自主活動	
33		16	水	26	学習成果発表会		菅井啓之⑫-1		
34			水	⑧	⑧修了式		菅井啓之⑫-2		
35	3	2	水	⑨	⑨・⑩修学旅行(1泊2日)				
36		3	木	⑩					
					授 業(自主講座、成果発表会含む)	26(講座数列数値の1~26)		自主活動	21
					学 習 事 業(①~⑩)	10(講座数列数値の①~⑩)		★印は校外(教室不要)	
					合 計	36			

注)1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。

2020.11.28